

子どもの主体的な学びを引き出す教師のかかわり

一人一人の思いや考えをつなぐ教師のかかわり

なぜ?

授業進度が遅れないようにしなくては...

細かく全部教えてあげなければ...

教え込み!?

つつい教師主導型に...



生徒はよく板書も写しているし、講義型の授業の方が...

子どもの主体性は!?

つつい一問一答式に...

学び合いつてどんなの?

学び合いのイメージが乏しい!?



子どもは思いや考えを話すのが苦手だから...

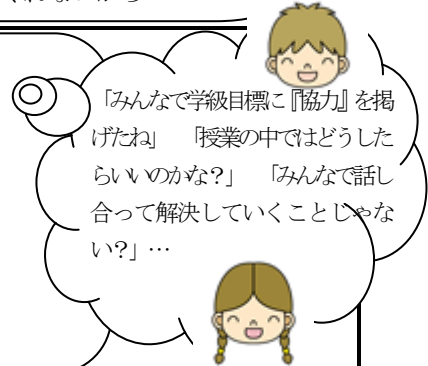
思い込み!?

学年が上がるとしゃべってくれないから...

授業のまえに

学級づくり

- 学級目標に立ち返る ...学級目標と連動を図り、目指す授業像について話し合わせる。
- 受容の雰囲気を作る ...話しやすい温かい雰囲気づくりに努める。子どもの表情や態度に心を配る。
- 個の伸びに応じて褒める...教師が子どもの変容や成長を意識して褒める。子ども同士が認め合う。「挙手できたこと、発言の内容、聴く態度、...」
- 相手意識をもたせる ...相手を意識した話し方・聴き方を考えさせて、その姿勢を育む。学級全体で学び合う意識をもたせる。
- 年間の見通しをもつ ...「3学期にはこんな姿に...」など、子どもの成長の姿を願い、声かけしていく。



教材研究

- 教科の特性・ねらいの明確化
 - ・教科でつきたい力を明確にする。
 - ・つきたい力を意識して、単元計画を構想する。
 - ・本時のねらいを明確に設定する。

目指す授業像の共有化

- 教師間での共通理解
- 目指す授業を子どもと共有
 - ・理想の授業に対するあこがれの意識をもたせる。
 - ・他の授業を参観したり、授業ビデオを視聴したり、シナリオ劇で演じてみたりして、イメージをもたせる。

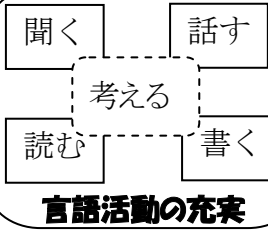
教師の意識

- 子どもの思考を引き出す意識
- 子どもの思考をつなぐ意識
- 子どもの思考を受け止め、価値づけ、鍛える意識
- 学び合いの授業づくりへの意識

つかむ

今日の課題は...こんな流れで進めていくよ。

- 明確なねらいと、学習の見通し
 - ・子どもとねらいを共有する。
 - ・単元の中の本時の位置づけや、本時の授業の流れについて見通しをもたせる。
- 考えたい課題の設定と提示
 - ・考える必要感のある課題を設定し、子どもの興味・関心を喚起する提示の仕方を工夫する。



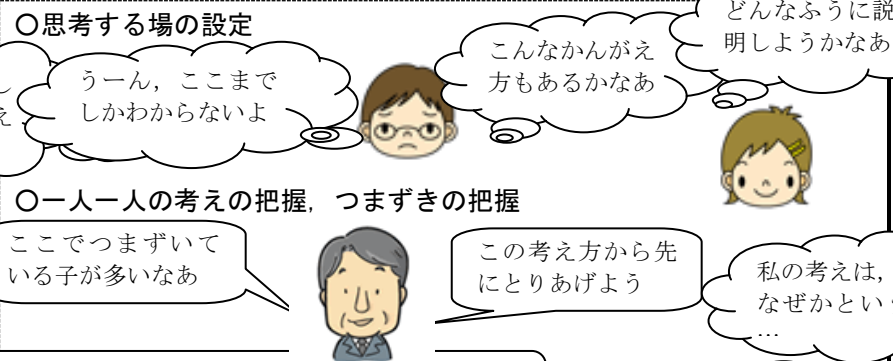
考える

- 学習環境の整備
 - ・学習規律の確立
 - ・既習事項等の掲示、学びのあとがみえるノート
- 自分で決める場の設定



- 指示することばを認めることばに
 - ・「～しなさい」ばかりでなく、「～できてるね」と声かけをし、意欲を引き出す。

- 深め合う場での説明を意識させる声かけ
 - ・「根拠を示して説明しよう」「比較して説明しよう」などの意識をもたせる。
- 思考する場の設定



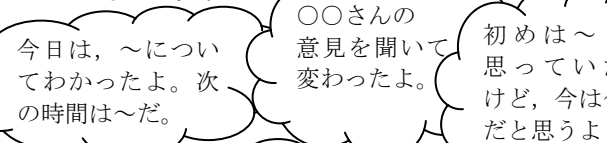
- 学び合いに向けて発言の準備
 - ホワイトボード・ノート・短冊の活用、キーワード、図等を用いた発表...
- ペアやグループの活用(目的や必要感)
 - ・ペアやグループを取り入れ、発言の場を増やす。
 - ・友だちと考えを交流し、共通点や相違点に目を向けさせる。
- 授業の山場のゆさぶり
 - ・論点や立場を明確にして話し合いの必要感をもたせる。
- 個に応じた指導・支援
 - ・習熟の早い子どもや遅い子どもへの指導・支援を充実させる。
- 教科のおもしろさの感得
 - ・子どもに教科の特性に触れさせ、楽しさを味わわせる。

深める

聴き方・話し方の指導...よい姿はその場で褒めて定着させる

- 子どもの積極的に聴く意識
 - ・自分の考えと似ているところ、違うところを意識して聴く。
- 子どもの伝えようと話す意識
 - ・伝える相手を意識する。
 - ・自分の考えを、根拠を明確にして説明する。

気づきや考えの変容



- 大事なことは子どもの言葉で
 - ・教師がまとめたり話しすぎたりしない。

まとめる

- 評価の工夫 子どもの自己評価・相互評価
- 振り返りの充実 本時のねらいについての振り返り、学び方についての振り返り
- ねらい達成の把握と価値づけ 本時のねらいに対する満足感、達成感

- 一問一答式の克服
 - ・「同じです」「一緒です」で安心しない。
 - ・「わからない」「困った」「なるほど」「へえ」など、子どもの素直なつぶやきをつなぐ。
 - ・意図的に、他の子どもに発言の続きを表現させる。
 - ・教えるべきことと引き出すことを区別する。
- 発問の吟味
 - ・思考力・判断力・表現力をつける記述式の解答を意識した発問。
 - ・より考えを深め合う切り返しの発問。
- 構造的な板書
 - 〇さんの考えは黒板のどこに書くといい?
- 思考をつなぐヒントは子どもの言葉の中に
 - ・教師がつかないで子どもに投げかける。
 - ・子ども自身がつなぐ。

- 思考をつなぐヒントは子どもの言葉の中に
 - ・「〇〇さんの言ったことを詳しく言うと...」
 - ・「〇〇さんの言ったことを別の言い方で言うと...」
 - ・「〇〇さんと〇〇さんの共通点は...」
 - ・「〇〇さんにつなげて言うと...」